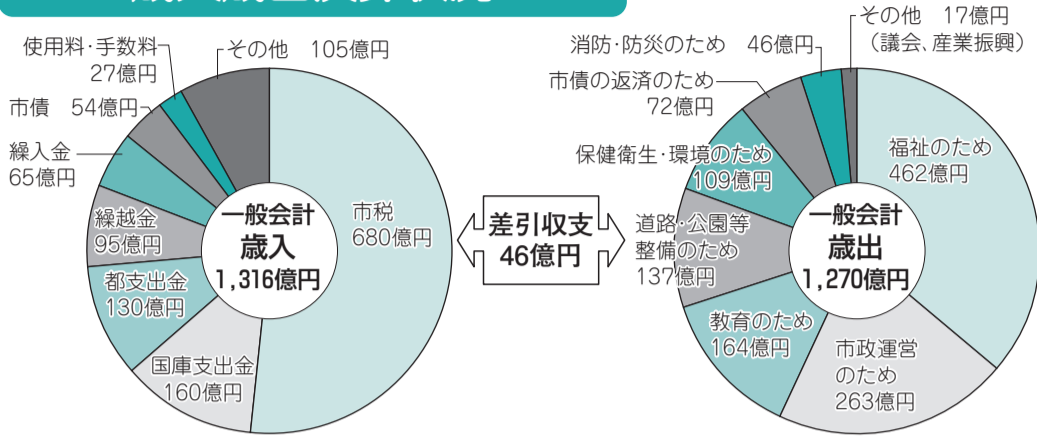


2009年度決算状況

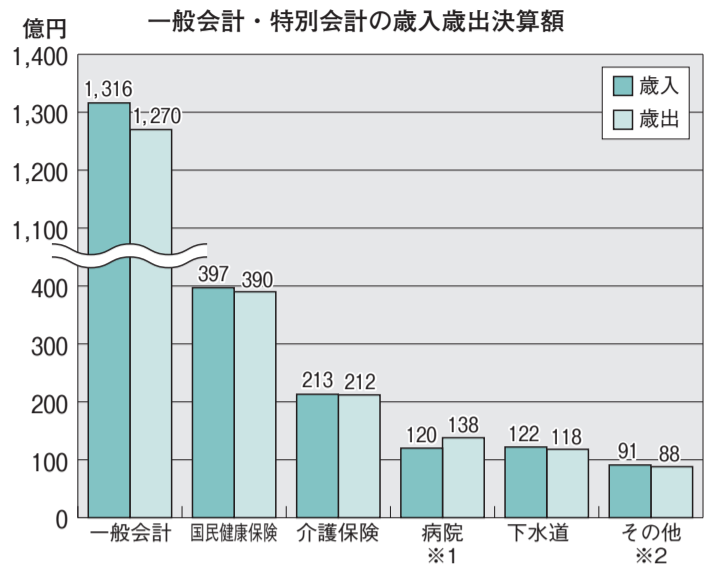
市民の皆さんに納めていただいた市税がどのように使われ、市の決算はどのようになったかを お知らせします。お問い合わせは財政課 (☎724・2149 FAX724・1172) へ。

※金額は、表示単位未満四捨五入

歳入歳出決算状況



2008年度から2009年度にかけて定額給付金の給付を行った影響により、前年度と比較して、歳入では繰越金が57億円増え、歳出では市政運営のための支出が57億円増えました。そのほかの特徴としては、景気後退の影響で歳入のうち市税収入が17億円減った一方、歳出では障がい者サービスや生活困窮者への支援など、福祉のための支出が14億円増えました。



※1 病院歳出決算額には現金支出を伴わない減価償却費等が含まれています。
※2 その他=後期高齢者医療、受託水道、忠生土地区画整理、老人保健医療

主要な事業と決算額

—市民の皆さんに納めていただいた市税は、このように使われました—

中期経営計画の着実な実施

- <重点政策プラン>
- 新庁舎の建設工事に着手 (2012年度完成予定) 2億9,561万円
 - 鶴川駅前公共施設の設計を実施 (2012年度開館予定) 8,389万円
 - イベントごみ減量の取組みへの支援等によりごみの減量を推進 8,474万円
 - 20年間期間限定認可保育所4園等の整備費を補助 2億4,919万円
 - 子どもの放課後対策(学童保育クラブ整備等)を実施 2億845万円
 - 小山中央小学校の整備(2010年4月開校) 20億6,587万円
 - 特別養護老人ホーム3施設(344床分)の整備費等を補助 1億118万円
 - 2013年多摩(東京)国体開催に向けた会場等の整備 9億3,894万円
 - 主要な道路の整備 16億7,874万円
- <行政経営改革プラン>
- 南町田駅前連絡所の増設(2009年12月開所) 1,211万円

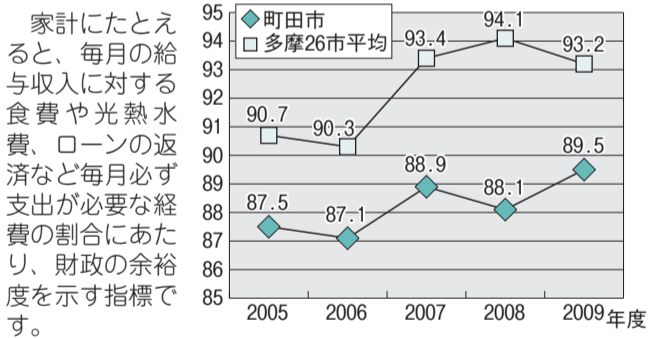
社会情勢を踏まえた事業の実施

- <緊急経済対策>
- 国・東京都制度を活用した雇用対策を実施 2億1,514万円
 - 生活安定応援窓口や就労・住宅相談窓口の開設 2,708万円
- <災害対策>
- 小・中学校7校の耐震工事、6校の耐震設計を実施 5億4,578万円
 - 家具転倒防止器具等の支給 5,202万円
- <生活安心対策>
- 妊婦健康診査14回分を助成 2億2,644万円
 - 義務教育就学児への医療費助成を拡充 2億3,618万円
 - 新型インフルエンザへの対応 5,551万円
- <地球温暖化対策>
- 小学校3校・学童保育クラブ1か所の屋根に遮熱特殊塗装 1,521万円
 - 小・中学校4校に太陽光発電設備を設置 7,160万円
- <その他>
- 定額給付金の給付 56億1,255万円

主な財政指標

—町田市の財政状況を表す数値を見てみましょう—

経常収支比率



健全化判断比率

一般会計だけでなく特別会計を含めた赤字額、公社・第三セクター等を含めた借金返済の単年度負担や将来負担の大きさを数値化したものです。

※「-」は、赤字や将来財政を圧迫する将来負担がないことをあらわしています。
※「早期健全化基準」は財政破たんの「イエローカード」、「財政再生基準」は「レッドカード」にあたる数値です。

資金不足比率

市が経営する公営企業の資金不足の大きさを数値化したものです。

※「-」は、資金不足がないことをあらわしています。
※「経営健全化基準」は経営破たんの「イエローカード」にあたる数値です。

	2009年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-%	11.25%	20.00%
連結実質赤字比率	-%	16.25%	40.00%
実質公債費比率	1.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	-%	350.0%	-

	2009年度	経営健全化基準
病院事業会計	-%	20%
下水道事業会計	-%	
忠生土地区画整理事業会計	-%	

連結財務諸表

—町田市の決算を民間企業方式で見ると、どうなっているのでしょうか—

市では1年間にどのくらいの収入があり、何にいくら使ったかという「こづかい帳方式」で経理を行っています。この方式は、現在どれだけの資産や借金があるのか、行政サービスを提供するのにどのくらいのコストがかかっているのかわかりにくいのが難点です。そこで、「民間企業方式」の決算報告書を一般会計と全ての特別会計、町田市が加入している一部事務組合や関連する団体を合算した「連結財務諸表」として作成しました。

貸借対照表 住民サービスを提供するためにどれだけの財産を持ち、その資産形成はどのような資金でまかされたか

借方		貸方	
【資産の部】		【負債の部】	
1.公共資産 (土地・建物等)	7,051億円	1.固定負債	1,415億円
2.投資等	253億円	うち地方債・長期借入金	1,223億円
うち基金等	218億円	うち退職手当等引当金	191億円
3.流動資産	210億円	2.流動負債	155億円
うち資金	104億円	負債合計	1,570億円
4.繰延勘定	5億円	【純資産の部】	
資産合計	7,518億円	1.純資産	5,948億円
		純資産合計	5,948億円
		負債・純資産合計	7,518億円

行政コスト計算書 1年間の行政サービスに要した費用とサービスの対価としての収入はどのくらいか

1.人にかかるコスト	311億円
(人件費・退職手当等引当金繰入金など)	
2.物にかかるコスト	475億円
(委託料、消耗品費、維持補修費、減価償却費など)	
3.移転支出的なコスト	1,273億円
(社会保障給付、特別会計への繰入金、補助金等)	
4.その他のコスト	105億円
(支払利息など)	
経常行政コスト合計 (a)	2,164億円
経常収益合計 (b)	798億円
純経常行政コスト (a) - (b)	1,366億円

純資産変動計算書 貸借対照表上の純資産が1年間にどのような要因で増減したか

純資産残高(2009年3月31日時点)	5,949億円
純経常行政コスト	△1,366億円
一般財源	768億円
うち市税	685億円
国や都からの補助金等受入	577億円
その他	21億円
純資産増減額	△1億円
純資産残高(2010年3月31日時点)	5,948億円

資金収支計算書 市のどのような活動で資金(現金)が使われ、増減したか

資金残高(2009年3月31日時点)	171億円
経常的収支	186億円
支出	1,990億円
収入	2,175億円
公共資産整備収支	△95億円
支出	216億円
収入	121億円
投資・財務的収支	△158億円
支出	188億円
収入	30億円
資金増減額	△67億円
資金残高(2010年3月31日時点)	104億円

町田市への寄附の使いみちについて...

2009年度にふるさと納税制度などで町田市へお寄せいただいた寄附金の総額は、27,305,741円でした。町田市では、この寄附金を、福祉や緑地保全、文化振興などに活用させていただきました。町田市を応援して下さる温かいお気持ちに感謝します。ありがとうございました。

2009年度の決算状況や財務諸表の詳細は、冊子「町田市の財政」でお知らせしています。町田市ホームページや市政情報やまびこ、市内各図書館で12月15日からご覧いただけます。